



仙台市水道局マスコットキャラクター

ウォーターくん

# 平成 24 年度事業計画

---

仙台市水道局

## 1. はじめに

仙台市水道局では、平成 22 年 3 月に策定した「仙台市水道事業基本計画（平成 22 年度～平成 31 年度）」（以下「基本計画」という。）及びその実施計画である「仙台市水道事業中期経営計画（平成 22 年度～平成 26 年度）」（以下「中期経営計画」という。）に基づき、優先的・重点的に取り組んでいく 6 つの「施策の基本的方向性」を踏まえ、各年度の事業に取り組んでいます。（図 1）

このたび、平成 24 年度における事業計画がまとまりましたので、お知らせいたします。

図 1 仙台市水道事業の計画体系



## 2. 予算の概要

---

本市水道事業においては、節水意識の浸透や社会経済状況の変化等を背景に、事業の根幹を成す水需要が減少傾向にあることに加え、東日本大震災の影響で落ち込んだ水需要が、いまだ回復途上の状況にあります。このような中、被災した施設の本格的な復旧、大規模災害の再来に備えたライフライン機能の強化や、老朽化施設の機能維持のための修繕・更新等に要する経費の増加が見込まれており、引き続き経営の安定化に向けた取り組みを進めていく必要があります。

本年度においては、事務事業の見直しやコストの縮減等により、経営の効率化を一層推進してまいります。また、耐震性の向上を図るための老朽铸铁管等の更新、水道基幹施設の耐震化、水道水の相互融通機能の充実を図るための配水幹線整備や、浄水場・配水所等水道施設の機能維持のための更新・改良工事等を着実にを行い、より安定した給水の確保と災害にも強い水道づくりに努めてまいります。

今後とも効率的かつ効果的な事業運営を進め、経営の安定化を図るとともに、お客さまのニーズを的確に捉えながら、給水サービスの向上に努め、安全・安心な水道水を供給することを通じて、お客さまに一層信頼される水道事業を目指してまいります。

### 3 . 事業計画

区 分	単位	平成 24 年度 当初予算 (C)	平成 23 年度 補正後予算 (D)	増減 ( 減 ) (C) - (D)	比率 (%) (C)/(D)
年間総配水量 (A)	m <sup>3</sup>	119,205,350	119,850,360	645,010	99.5
( 仙台市配水量 )	m <sup>3</sup>	(114,894,700)	(115,410,780)	( 516,080)	( 99.6)
( 他市町分水量 )	m <sup>3</sup>	( 4,310,650)	( 4,439,580)	( 128,930)	( 97.1)
一日平均配水量	m <sup>3</sup>	326,590	327,460	870	99.7
一日最大配水量	m <sup>3</sup>	369,900	366,640	3,260	100.9
使用給水栓数	栓	417,800	407,000	10,800	102.7
年間有収水量 (B)	m <sup>3</sup>	109,321,150	108,138,360	1,182,790	101.1
職 員 数 ( 管理者除く )	人	407	417	10	97.6
有 収 率 (B)/(A)	%	91.7	90.2	1.5	101.7



## 4 . 財政状況

### (1) 収益的収支

水道水をつくり、ご家庭にお届けするための財源と経費です。

収入 253億4,600万円

お客さまからの水道料金 223億7,800万円	その他 29億 6,800万円
----------------------------	-----------------------

支出 251億6,300万円

当年度純利益  
1億8,300万円

人件費 35億 9,200万円	物件費など 58億4,600万円	受水費 67億円	減価償却費 72億100万円	支払利息 18億 2,400万円
-----------------------	---------------------	----------	-------------------	------------------------

県などから浄水を購入  
するための費用

水道施設などの資産価値  
の目減り分を毎年の費用  
として計上したもの

国などから  
の借入金  
の利息

平成24年度は、震災の影響による料金収入の落ち込みが未だ回復途上である中、支払利息の減少や経費の削減などにより、当年度の純利益(黒字)は1億8,300万円となる見込みです。

### (2) 資本的収支

水道施設を建設・改良するために必要な財源と経費です。

収入 34億5,500万円

企業債 25億円	その他 9億 5,500万円	損益勘定留保資金など 86億7,600万円
----------	----------------------	--------------------------

減価償却費などを  
充当します

支出 121億3,100万円

建設改良費 67億1,500万円	企業債償還金 54億1,600万円
---------------------	----------------------

施設の建設・改良工事のための費用など

国などからの借入金の元金の返済

平成24年度は、老朽化した水道管の更新や大規模災害の再来に備えた水道施設の建設・改良工事などを実施するための費用を計上しています。

(3) 前年度との比較(収益的収支)

(単位 : 千円)

区 分 科 目	平成 24 年度 当初予算額	平成 23 年度 補正後予算額	増減額 ( 減 )	比 率 ( % )
水道事業収益	25,345,979	25,210,989	134,990	100.5
営業収益	24,003,819	23,285,557	718,262	103.1
給水収益	23,059,841	22,309,266	750,575	103.4
受託工事収益ほか	943,978	976,291	32,313	96.7
営業外収益	1,340,467	1,923,602	583,135	69.7
水道加入金	666,085	712,541	46,456	93.5
他会計補助金	608,042	836,219	228,177	72.7
不動産賃貸料ほか	66,340	374,842	308,502	17.7
特別利益	1,693	1,830	137	92.5
水道事業費用	25,163,467	25,018,765	144,702	100.6
営業費用	23,180,262	22,916,888	263,374	101.1
人件費	3,592,121	3,720,647	128,526	96.5
物件費	5,347,967	5,277,751	70,216	101.3
受水費	6,700,495	6,339,218	361,277	105.7
減価償却費ほか	7,539,679	7,579,272	39,593	99.5
営業外費用	1,898,498	2,022,759	124,261	93.9
支払利息	1,824,744	1,915,474	90,730	95.3
繰延勘定償却ほか	73,754	107,285	33,531	68.7
特別損失	54,707	49,118	5,589	111.4
予備費	30,000	30,000	0	100.0
当年度純損益(税抜き)	182,512	192,224	9,712	94.9

(注) 消費税抜きの額である。

(4) 前年度との比較(資本的収支)

(単位 : 千円)

区 分 科 目	平成 24 年度 当初 予 算 額	平成 23 年度 補正後 予 算 額	増減額 ( 減 )	比 率 ( % )
水道事業資本的収入	3,454,594	2,917,938	536,656	118.4
企 業 債	2,500,000	2,000,000	500,000	125.0
固 定 資 産 売 却 代 金	1	1	0	100.0
出 資 金	478,076	471,909	6,167	101.3
国 庫 補 助 金	24,000	110,818	86,818	21.7
開 発 負 担 金	182,969	157,394	25,575	116.2
負 担 金	261,519	168,236	93,283	155.4
そ の 他 資 本 的 収 入	8,029	9,580	1,551	83.8
水道事業資本的支出	12,130,973	11,479,897	651,076	105.7
建 設 改 良 費	6,715,387	5,798,208	917,179	115.8
配 水 管 整 備 事 業 費	3,823,351	3,532,430	290,921	108.2
施 設 整 備 事 業 費	2,415,314	2,001,588	413,726	120.7
受 託 等 工 事 費	476,722	264,190	212,532	180.4
企 業 債 償 還 金	5,415,586	5,445,492	29,906	99.5
開 発 費	0	236,197	236,197	皆減
差 引	8,676,379	8,561,959	114,420	101.3

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。



## 5 . 主な実施事業

基本計画及び中期経営計画において定められた 6 つの「施策の基本的方向性」の分類ごとに、平成 24 年度に実施する予定の主な事業をご紹介します。

【 】内の金額は平成 24 年度の事業費です。

### (1) 安全・安心で良質な水道水の提供

高度浄水処理施設の導入【約 1,000 万円】

かび臭対策として、浄水場の粉末活性炭注入設備の導入を進めます。

保安体制の充実【約 5,100 万円】

配水所などの無人の水道施設において機械警備を実施します。また、有害物の投入防止のため導水路の覆蓋化を行います。



粉末活性炭注入設備

### (2) 安定・信頼の水道システムの確立

配水幹線の整備【約 1 億 1,000 万円】

災害時に弾力的な水の相互融通を行い、断水などの被害拡大を防止するため、配水幹線網の整備を行います。

鉛製給水管の更新【約 6 億 9,000 万円】

漏水防止や適正な水質管理の観点から、鉛製給水管の更新を行います。

浄水施設・配水施設の耐震化【約 3 億 2,100 万円】

浄水施設の耐震補強実施設計や、配水施設の耐震詳細診断などを行います。

管路の耐震化【約 20 億 5,100 万円】

配水幹線や老朽管、災害医療の拠点となる災害拠点病院などへの管路について、耐震性に優れた水道管への更新を行います。



耐震管への更新工事



### (3) お客さまの視点に立った事業運営

事業・水質などの情報の積極的な提供【約 3,300 万円】

お客さまの関心が高い水質や災害対策に関する情報などを，広報紙やホームページなどを通じてお知らせします。

### (4) 環境に配慮した事業運営

地球温暖化防止に向けた取り組みの推進

水道施設における設備の更新工事に伴い，高効率の変圧器やモーターを採用するなど，省エネルギー型機器への切り替えを進めます。

### (5) 経営基盤の強化

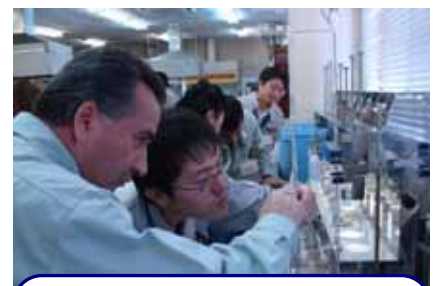
事業運営の効率化【約 2,200 万円】

業務の効率化を図るため，平成 23 年度から実施している給水装置関連業務の第三者委託を引き続き実施します。

### (6) 新たな視点に立った事業運営

国際貢献の推進【約 55 万円】

海外技術研修員の受け入れを通して参加国の水道技術向上に貢献するため，独立行政法人国際協力機構（JICA）研修員の受け入れを行います。



海外技術研修員受入れの様子

